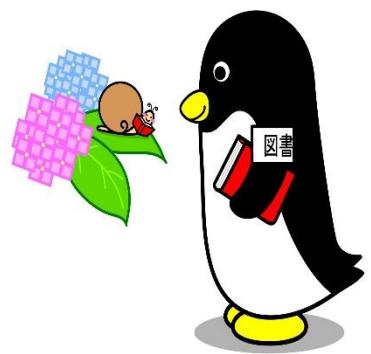
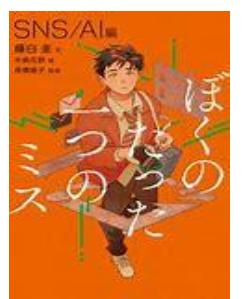


図書館だより



新しい本が入りました！

- 「中高生のスポーツハローワーク」中高生のスポーツハローワーク編集部／編・著
「池上彰の君と考える戦争のない未来」池上 彰／著
「十年屋7 タイムセールいたします」広嶋 玲子／著
「ぼくのたった一つのミス SNS/AI編」藤白 圭／著
「僕には鳥の言葉がわかる」鈴木 俊貴／著
「君の嘘と、優しい死神」青谷 真未／著
「この夏の星を見る」辻村 深月／著
「うつくしが丘の不幸の家」町田 その子／著



七尾中学校図書館
令和7年 6月号



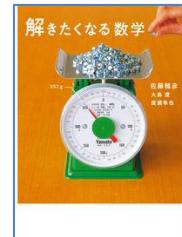
楽しい数と数学の世界



数学が日常生活のどこに使われているか、自然界にどのように存在しているか。そんな身近な数学を感じることで、苦手意識を持っている人も見方が変わるかもしれません。



「浜村渚の計算ノート」青柳 碧人／著



「お任せ！数学屋さん」向井 湘吾／著

「天と地の方程式」富安 陽子／著

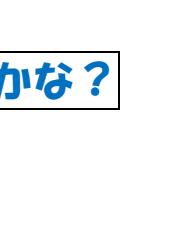


「解きたくなる数学」横山 明日希／著

「解きたくなる数学」佐藤 雅彦／著

「素数ゼミの謎」吉村 仁／著

「面白くて眠れなくなる数学」桜井 進／著



タイトルに数字の入った本…何を意味する数字かな？

「一〇五度」佐藤 まどか／著

「永遠の〇」百田 尚樹／著

「華氏451度」レイ・ブラッドベリ／著 宇野利泰／訳

「2.43清陰高校男子バレーボル」壁井 ユカコ／著



「137億光年のヒトミ 地球外知的生命の謎を追う」

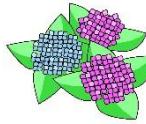
鳴沢 真也／著



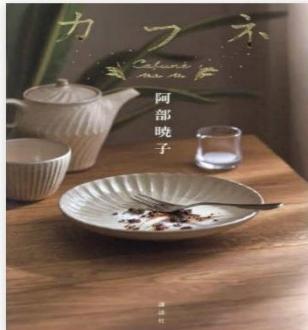
「カフネ」、「小説」、「spring」が入りました！



雨の日は本の中で冒険しよう！



2025年大賞決定!! 本屋大賞



『カフネ』

阿部暁子

2025年の本屋大賞は阿部暁子さんの『カフネ』でした。家事代行サービス「カフネ」を手伝うことになる41歳の女性の視点で物語が始まります。優しくも切ない物語に心が救われるはず。



本屋大賞 3位



「小説」野崎 まど／著

「物語に救われ、読書に呪われた」
君はなぜ、小説を読むのか?
小説を愛するすべての人に読んでほしい小説賛歌の傑作です。

本屋大賞 6位



「spring」恩田 陸／著

史上初の直木賞＆本屋大賞をW受賞した
『蜜蜂と遠雷』で多くの読者の心を掴んだ恩田陸の新たな代表作が誕生！構想・執筆10年、待望のバレエ小説。

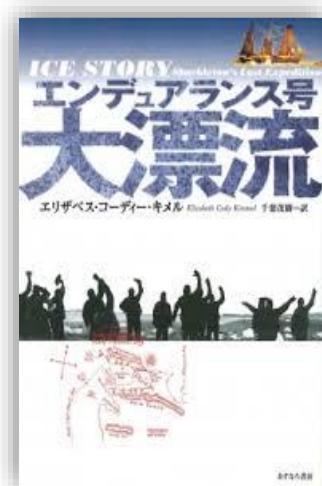
◆鬱陶しい雨の日を吹き飛ばす！おすすめ冒険小説◆

「アグルーカの行方 129人全員死亡、

フランクリン隊が見た北極」角幡 唯介／著

今なお命の瀬戸際まで人間を追いつめる酷寒の北極圏。

19世紀、地図なき世界と戦い、還らなかつた人々を追う、壮絶な1600キロ徒步行！人間の生と死をめぐる力強い物語！



「エンデュアランス号漂流」

エリザベス・コーディー・キメル／著

千葉 茂樹／翻訳

南極探検の歴史に埋もれた「偉大な失敗」の記録！すさまじい漂流の中、決して希望を失わず、またユーモアを忘れず、さまざまな困難を乗り越え、シャクルトン隊は28名全員が奇跡の生還を果たした。読む人に生きるよろこびと勇気をあたえてくれる物語。

雨の日は読書がおすすめ。
図書室でお気に入りの1冊を見つけてください。

